

製品安全データシート

ZIKANOX-549DF

作成 : 2019/2/14  
改訂 : 2021/3/8

● 項目1 化学品及び会社情報  
化学品の名称

2-[1-(2-ヒドロキシ-3,5-ジ-tert-ペンチルフェニル)エチル]  
4,6-ジ-tert-ペンチルフェニル=アクリラート

会社名  
住所  
緊急連絡先番号

ZIKO  
Osunri 345-6, Kumwangeup, Eumsunggun, Chungbuk, Korea  
+82-43-877-3300

販売代理店  
住所:  
電話番号  
FAX  
メールアドレス  
HP

サンケミカル株式会社  
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング  
03-3661-6681  
03-3661-7055  
[yano@sun-chemical.co.jp](mailto:yano@sun-chemical.co.jp)  
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意  
酸化防止剤

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類  
物理化学的危険性:

健康に対する有害性:

環境に対する有害性:  
水生環境慢性有害性 区分4

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル 無し

● 注意喚起語 無し

● 危険有害性情報 H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

● 注意書き P273 環境への放出を避けること。  
P391 漏出物を回収すること。  
P405 施錠して保管すること。  
P501 内容物/容器を条令、法令、国際規制に従い、破棄すること。  
P102 子供の手の届かないところに置くこと。

【応急措置】  
吸引した場合

新鮮な空気のある場所へ移動し、楽な姿勢で休ませる。  
呼吸困難の場合、酸素呼吸器を与えること。

皮膚に付着した場合	水で数分間洗い流すこと。 汚れた衣類を直ぐに脱ぐ。 汚れた衣類は再度着用する前に洗っておくこと。
眼に入った場合	水で数分間洗い流すこと。
飲み込んだ場合	意識が無い状態では、何も口に与えないこと。
【保管】	換気がされている場所で保管し、容器を密閉する。
【廃棄】	法令条令に従って廃棄すること。

---

### 項目3 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

2-[1-(2-Hydroxy-3,5-di-tert-pentylphenyl)ethyl]-  
4,6-di-tert-pentylphenyl acrylate

別名

化学特性

CAS番号

123968-25-2

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

100%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

4-1725 化審法  
7-(4)-814 安衛法

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物 無し

---

### ▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断をうけること。

吸引した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、楽な姿勢で休ませる。 呼吸困難の場合、酸素呼吸器を与えること。
皮膚に付着した場合	水で数分間洗い流すこと。 汚れた衣類を直ぐに脱ぐ。 汚れた衣類は再度着用する前に洗っておくこと。
眼に入った場合	水で数分間洗い流すこと。
飲み込んだ場合	意識が無い状態では、何も口に与えないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	指定された個人保護具を使用すること。 症状に応じて治療すること。
毒劇物の場合、解毒剤	非該当

---

### 項目5 火災時の措置

消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤

使ってはならない消火剤

データ無し

火災時の措置に関する  
特有の危険有害性

容器は熱や火で燃えて、有毒ガスが発生する。  
可燃性の蒸気が発生する。

特有の消火方法	データ無し
消火を行う者の保護	着火源を取り除くこと。 火災の際、保護具を着用すること。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	着火源を取り除く。 漏出を止めること。  適切な保護具を着用すること。 関係者以外は立ち入らないこと。
環境に対する注意事項	環境に放出しないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	内容物を処理すること。 漏出物を回収すること。
二次災害の防止策	無し

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。
技術的対策 (局所排気、全体換気)		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項		ダスト、フェーム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。 十分な換気をしておくこと。 保護具を着用して取り扱うこと。
接触回避		「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策		汚れた衣類を着たまま外に出ないこと。
保管		
安全な保管条件 近づけてはいけないもの		換気がされている場所で保管し、容器を密閉する。 水分 液体
安全な保管包装材料		元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等		
	日本産業衛生学会( 2005 年版)	データ無し
	ACGIH( 2005 年)	データ無し
設備対策		換気をよくすること。
保護具		
呼吸用保護具 手の保護具		適切な保護具を着用すること。

眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

特別な注意事項

データ無し

---

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状態	固形
色	わずかに白い
臭い	無し
融点・凝固点	≥115°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限	データなし
引火点	データ無し
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数	>6.2(22°C)
蒸気圧	データ無し
相対ガス密度	データ無し
蒸気密度	データ無し

その他データ

---

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の使用では安定
危険有害反応可能性	熱にさらされると、燃えるおそれがある。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	熱、火
混触危険物質	無し
危険有害な分解生成物 その他	無し

---

★ 項目11 有害情報

オリジナルのSDSの内容を引用

急性毒性

経口	LD50 > 5000mg/kg Rat
経皮	LD50 > 2000mg/kg Rat
吸入	データ無し

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

刺激無し(ラビット、モルモット、ブタ)

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

刺激無し(ラビット)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データ無し

生殖細胞変異性

データ無し

発がん性

データ無し

生殖毒性

データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露

データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露

ラット:経口 90日 NOEL >1000mg/kg/day

誤嚥有害性

データ無し

その他

---

## 項目12 環境毒性情報

生態毒性

LC50  $\geq$ 1000mg/L (コイ :96H)

LC50  $\geq$ 1000mg/L (ミジンコ :48H)

藻のデータはない

残留性・分解性

データ無し

生体蓄積性

データ無し

土壤中の移動性

データ無し

オゾン層への有害性

データ無し

他の有害影響

---

## ▲ 項目13 廃棄上の注意

残余廃棄物 法令条令に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

---

## 項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

非該当

品名(国連輸送名)	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	非該当
容器等級 海洋汚染物質 (該当・非該当)	非該当 非該当
MARPOL73/78附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)	非該当
国内規制 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	非該当
応急措置指針番号	非該当
その他	

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法	非該当
安衛法	非該当(通知表示物質)
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	既存化学物質
外為法	該当 輸出貿易管理令 別表1 16項 キャッチオール

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報  
引用文献

オリジナルMSDS  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE  
ECHA

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用性を対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色付けはGHS対応ガイドライン準拠 (2012年6月 日化協)			(但し、ラベルに全て載せる必要はない)